

子宮頸がんワクチン接種のお知らせ

平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの方は、「キャッチアップ接種」の対象者として、令和7年3月31日まで無料でHPVワクチン（子宮頸がんワクチン）を打つことができます。子宮頸がんを予防するために、ワクチン接種をご検討ください。

3回の接種には6か月以上を要します。

令和6年9月30日までにまず1回目のワクチンを打ちましょう

3回接種すると全部で約10万円のワクチンです。



◆指定医療機関

接種医療機関	電話番号	診療時間等
北竜町立診療所	34-2331	月～金曜日9:00～12:00/13:00～17:00 ※要予約。午前・午後とも診療時間終了30分前までに受付をして下さい
深川市立病院 小児科外来	22-1101	予防接種外来 毎週水曜日13:00～16:00 ※接種希望日の1週間前までに予約が必要です。 (予約受付時間: 平日8:30～16:00)
津田こども クリニック	34-5311	月・火・木・金曜日8:30～12:00/14:00～17:00 水・土曜日8:30～12:00 ※平日は11時・16時、土曜は10時までに来院下さい。

注意) 上記以外の医療機関で接種をした場合は料金が自費となります。

北竜町に住所があるが町内に住んでいない(学生等)などの事情があり、上記以外の医療機関で接種を希望される方は、住民課保健指導係までご連絡ください。

◆接種方法

接種を希望する方は、ご自分の接種歴をご確認の上、**住民課保健指導係(☎0164-34-7031)までご連絡下さい。**直接医院へ予約をする前に、一度北竜町役場への連絡をお願いします。

◆接種日持参物

子宮頸がんワクチン予診票(医院にもあります)、母子健康手帳、健康保険証

◆接種料金: 無料

◆接種スケジュールについて



※すでにサーバリックス(4価)の接種を開始している方は、同じワクチンを打つ必要がありますので、残りの回数を接種してください。



同封のリーフレットをご覧の上、接種をご検討ください

HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)が無料で打てる期限が迫っています。

子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)が原因、9価ワクチン接種により、約9割のHPVの感染を防げます。



30歳までに年間1000人の方が子宮頸がんにより子宮を失っています。正しい知識をもち子宮頸がんを予防しましょう。

【子宮頸がんについて】

日本では毎年11,000人が発症し、年間2,900人の方が子宮頸がんで命をおとしています。20~30歳代の若い女性に多いがんで、妊娠や結婚などのライフサイクルにとっても大きな影響をあたえてしまいます。

子宮頸がんの罹患者数

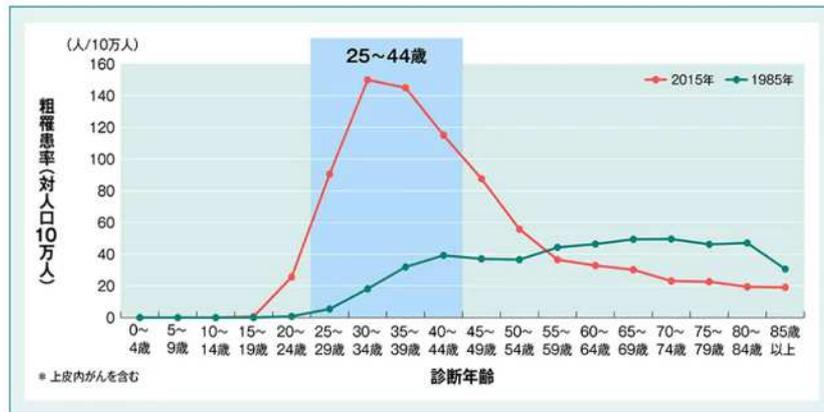
約1.1万人/年

一生のうち子宮頸がんになる人の割合

1万人あたり 132人

35人の女子クラスとして換算した場合

2クラスに1人子宮頸がん



↑日本における年代別子宮がん罹患者数(国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」より)

20~30歳代は出産を迎える時期でもあり、子宮頸がんの罹患年齢のピークと重なります。そのため子宮頸がんは「マザーキラー」とも呼ばれています。

打っている人が少ないけど、ワクチンは安全なの？

【HPVワクチンの安全性と効果について】

長年にわたる大規模な調査研究の結果、重い副作用の発生頻度は、接種をした人と接種をしていない人との間で差がなかった(ワクチン接種と関係がない可能性が高い)ことが報告されています。

また接種後に症状が出た場合も、専門医療機関が連携して対応しますので、安心して接種を受けてください。



ワクチンの安全性についての情報(日本産婦人科学会)



ワクチンに関するQ&A(厚生労働省HP)